



# ポータブル光量子計 QSL-2100/2101 型



QSL-2100/2101 型は、センサー一体型のポータブル光量子計です。

新しく開発された技術により超低消費電力を実現しました。コンピュータの RS-232C 通信ポート<sup>注1)</sup>から供給される電源だけで測定が行えます。球形テフロン<sup>®</sup>ディフューザーを採用していますので、全方位からの光を光合成有効放射光量(PAR 波長域:400-700nm)として検出します。

本体内部に固有のキャリブレーション係数が記録されており、機器が接続されると専用ソフトウェアが自動的に認識しますので、わずらわしい設定の必要がありません。用途に合わせて集光器径 1.9cm(2100 型)、1.3cm(2101 型)を用意しています。

## 特徴

- 小型・軽量
- 超低消費電力
- 全方位からの光合成有効放射光量
- 電池不要
- 使いやすい Windows 版ソフトウェア
- 確かな校正<sup>注2)</sup>

注1):USB ポートの場合、市販のシリアル変換アダプター器をご利用できます。

注2):バイオスフェリカル社製の計器は全て NIST(米国立標準技術研究所)に準拠しています。

●本カタログは、2004 年 12 月 1 日現在のものです。



日本総代理店  
**ケー・エンジニアリング株式会社**  
111-0053 東京都台東区浅草橋 5-14-10  
Tel 03-5820-8170 Fax 5820-8172  
URL <http://www.k-engineering.co.jp>  
E-mail [sales@k-engineering.co.jp](mailto:sales@k-engineering.co.jp)

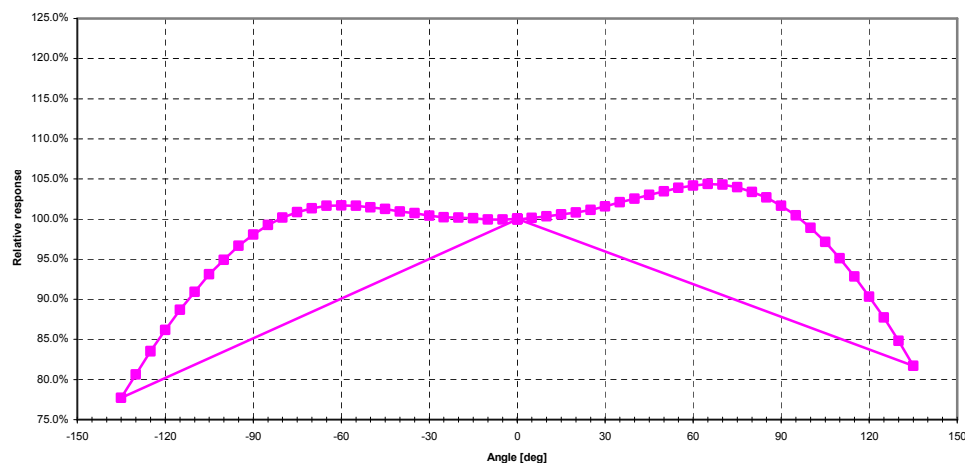
# ポータブル光量子計

バイオスフェリカル社の光量子計は、植物プランクトンや藻類等によって光合成が行われる環境を評価する上で重要な測器として世界各国で使用されています。

## 仕様

QSL-2100/2101 型標準仕様		
検出器	テフロン®ディフューザー	
検出管	ステンレスパイプで保護された石英ガラス	
分光特性	400~700nm を平均して検出(分光平均感度差±10%)	
入射角感度特性	下図参照	
測定単位	quanta/cm <sup>2</sup> ·sec、μE/cm <sup>2</sup> ·sec、μE/m <sup>2</sup> ·sec、Volt	
測定範囲	1×10 <sup>14</sup> ~ 3×10 <sup>17</sup> quanta/cm <sup>2</sup> ·sec	
出力	RS232C 9600bps	
動作環境	0~40°C	
電源	不要(但し、シリアルポート搭載 Windows 版コンピュータが必要) (USB→シリアル変換アダプター器使用可能)	
寸法	検出器	1.9cm 径(QSL-2100 型) 1.3cm 径(QSL-2101 型)
	検出管	25cm 長
	検出部/エレクトロニクス	4cm(径) × 10cm(長)
	ケーブル	3.5m

## 入射角感度特性



## ソフトウェア

データ収録は、1、5、10、30 秒、1、10 分の間隔で行えます。

